

# 令和3年度病虫害発生予察情報 発生予報第7号

令和3年9月15日  
発表：福島県病虫害防除所

## 1 果樹

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
リンゴ	斑点落葉病	全域	—	平年並	新梢葉での発生ほ場割合は平年並であった(±)。	
	<b>褐斑病</b>	<b>全域</b>	—	<b>やや多い</b>	<b>新梢葉での発生ほ場割合は平年よりやや高く、発病葉率の高いほ場も見られた(+)。</b>	<b>晩生種で発生が多い場合には、特別散布を実施する。</b>
	炭疽病	全域	—	平年並	果実での発生ほ場割合は平年並であった(±)。	罹病果は二次伝染源となるため、摘除し園外に持ち出すなど適切に処分する。
	<b>すす点病 すす斑病</b>	<b>中通り 会津</b>	— —	<b>やや多い 平年並</b>	<b>果実での発生ほ場割合は、中通りでは平年よりやや高く(+)、会津では平年並であった(±)。</b>	<b>地方の防除暦に従い、薬剤散布を実施する。</b>
	ハマキムシ類	全域	—	平年並	新梢、果実ともに被害発生ほ場割合は平年並であった(±)。	
モモ	せん孔細菌病	全域	—	やや少ない	新梢葉での発生ほ場割合は平年よりやや低かった(-)。	秋期防除を徹底し、越冬菌密度の低下を図る(令和3年8月30日付け防除情報参照)。
	ハマキムシ類	全域	—	平年並	新梢での被害発生ほ場割合は平年並であった(±)。	
ナシ	<b>黒星病</b>	<b>中通り 浜通り</b>	— —	<b>やや多い やや少ない</b>	<b>新梢葉での発生ほ場割合は、中通りでは平年よりやや高く(+)、浜通りでは低かった(-)。</b> 果実(豊水)での発生ほ場割合は平年並であった(±)。	<b>秋期防除や落葉処理を実施し、ほ場内の越冬菌密度の低下を図る(令和3年9月15日付け防除情報参照)。</b>
	ハマキムシ類	全域	—	平年並	新梢、果実ともに被害発生ほ場割合は平年並であった(±)。	

注) 予報の根拠の中で(+)は多発要因、(-)は少発要因、(±)は平年並要因であることを示す。

より詳しい発生状況や防除対策は、

福島県病虫害防除所ホームページ<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>をご覧ください。

お問い合わせはTEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727またはe-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jpへお願いします。